



令和5年7月19日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第19号

呉工業高校による出前授業 ～「ものづくり」の授業を体験しました～

7月13日（木）、広島県立呉工業高等学校の清水校長先生、木村先生、4名の生徒の皆様に来校していただき、「ものづくり」の出前授業をしていただきました。

中学校の技術科の授業では体験できない「レーザー加工」などに触れることで、工業技術の面白さや魅力を感じることができました。学年別に授業をしていただき、レーザー加工したキーホルダーにコンピュータで制御してイニシャルを彫ることを行いました。

木村先生の説明の後、高校生の皆様が丁寧かつ優しく実技の指導をしてくださいました。

お土産にキーホルダーをいただきましたが、呉工業高校ではどのような授業や実習をするのかなど、高校での学習の様子的一端を見ることができたと思います。

清水校長先生、木村先生、4名の生徒の皆様、本当にありがとうございました。



授業改善に取り組んでいます ～佐々木先生による研究授業を行いました～

7月14日（金）、本校と豊浜中学校から組織する「四島授業研究会」の取組として、佐々木 裕介 教諭による研究授業を行いました。本校では、子どもの問いを生かした「課題発見・解決学習」と深い理解を目指す「教えて考えさせる授業」を、生徒の様子や学習内容に応じながら実践しています。その実践から、生徒の学力向上や先生の授業改善を目指しています。

当日は、プログラムを制作し、センサーカーを動かすという内容を学習しました。センサーカーとは、光センサーや赤外線センサーを取り付けたモーターで動く車ですが、プログラムを駆使して、トンネルに入ったらヘッドライトが点灯したり、何かにぶつかりそうになったら停止したりすることに挑戦していました。このような機能は既に自家用車に登載されていますが、その仕組みを理解したり、実際に自らの手で機能させたりすることは大変有意義であり、現在学習していることが生活に結びつき、役立っていることも実感したと思います。

授業後は、呉市教育委員会 主任指導主事 細川 裕香 様に指導・助言をいただくなど有意義な協議会を行うこともできました。

細川主任指導主事様、佐々木先生、ありがとうございました。



交通事故には特に気を付けてください

呉市立学校の児童生徒の交通事故が、令和5年4月から6月末までの間、すでに16件発生しており、過去5年間の年間発生件数と比較しても最多となっています。また、夏休み中は児童生徒の活動範囲が広がったり、自転車に乗ったり機会も増加することが考えられますので、交通事故の危険性がより高まることが懸念されます。ご家庭におかれましても、再度、次の内容についてお子様と話し合うなどして、交通事故の防止に努めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

「交通ルールを遵守すること」

- 飛び出し禁止
- 信号を守る
- 横断歩道を安全に渡るために、以下の点に注意する
 - ・ 横断歩道の手前で止まり、「右」「左」「右」を確認すること
 - ・ 歩行者信号が青でも、車両が完全に停止したことを確認すること
 - ・ 横断中も車両が来ていないか確認すること



「自転車の安全利用について」(引用：自転車安全利用五則ほか)

- 原則、車道を通る
- 交差点では信号と一時停止を守って、安全を確認する
- 夜間はライトを点灯する
- 「ながら運転をしない」(傘さし、スマートフォン、イヤホン等の使用)
- ヘルメットを着用する【努力義務】

※頭部を守り、被害を軽減することにつながる。

